

青い波北陽台

「青き風・北陽台生よ、大志を抱け」

教頭 藤原勝志

平成の時代も残すところ後ひと月余りになりました。振り返ってみると「平成」の時代は、東日本大震災をはじめ、いくつもの大きな災害が日本を襲いました。しかし、どんな危機的状況下でも、私たち日本人はお互い支え合いながら、我慢強く思いやりを満ちた振る舞いや規律ある行動で乗り越えてきました。そして、その高く美しい精神性は、常に海外から大きな驚きと賞賛を受け、その賞賛は私たち日本人に大きな誇りと自信を与え、復興の原動力（底力）となりました。

司馬遼太郎さんは随筆「風塵抄（ふうじんしょう）」の中で次のように述べています。「人は世をつくり、世によって生かされてきた。世がこわれずに維持されているのは2つの要素である。2つとは、『公を大切にすること』と『素朴な正義感』である。」ここでいう公を大切にすることとは「かわいそうじゃないか」という憐憫の情であり、自分以外の他人に対する思いやりです。儒教で言う「仁」にあたります。人はこの心があるから他人に親切にできるし、感謝の心を持つことができます。だから世の中は平和でいられます。一方正義の心は正直をもとにした「不正を許さない心」であり、儒教で言えば「義」にあたります。人が人として守らなければならない「正しい行い」のことを指し、決められているからとか、叱られるからではなく、「自分の心が許す・人として恥ずかしくない」という強い意志を行動原理としています。いわゆる『自律』の精神です。ですから、どんな無秩序な環境の中でも略奪や独占、横暴な行為がほとんど発生しません。みなが苦しい中にもお互い支え合い、希望を持って暮らせる社会になります。この精神に裏付けされた日本人の「強さと優しさ」のDNAが世界から信頼・尊敬される国を支えてきたのだと思います。

しかし、残念ながら最近の世の中をみると、「仁」・「義」の心を失った、「自分がよければいい」・「バシければいい」を行動原理とした人が増え、法律（ルール）なんてあっても無用のものとする自己中心的な思考力・判断力しか持たない未熟な人がはばをきかせています。君たちは、長崎北陽台高校は大丈夫ですか。

司馬さんの言葉の「人」を生徒に、「世」を学校に変えてみるとどうでしょう。君たち生徒一人ひとりが「仁」・「義」の心で自らの思考や行動の基準をレベルアップさせ、「自律」と「自立」を目指した行動を心掛けることで学校生活はもっと自由で楽しく充実した時間となるのではないのでしょうか。将来、どのような自分になって社会に貢献していくのか、「やりたいこと」ではなく、「やるべきこと」を選択し実行する覚悟を持って下さい。

「Boys, be ambitious.」（少年よ 大志を抱け）クラーク博士の有名な言葉ですが、この言葉には続きがあります。

“Be ambitious not for money or for selfish aggrandizement,
not for that evanescent thing which men call fame .”

Be ambitious for the attainment of all that a man ought to be .”

「お金のためや、自分の立身出世、または世に言うはかない名声のためではなく、人として当然備えなければならないこと全てを成しとげるために、大志を抱け」

君たち一人ひとりの「青き風」が世界中を彩ることを！ずっと応援しています。

～2月28日（木）各種表彰・卒業記念品目録贈呈式・花束贈呈式～

① 各種表彰式

優良卒業児童生徒表彰	山添 圭祐
卒業生顕彰【県高体連】	蓮子 令佳
卒業生顕彰【県高文連】	柿本 拓海
陽の丘顕彰【本校】	池上 航太



② 卒業記念品目録贈呈式

38回生の皆さんより、プロジェクター1式を寄贈していただきました。授業や行事で大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

③ スクールバスの運転手さんへの花束贈呈式

3年間毎日お世話になった長崎バスの運転手さんに向け、卒業生を代表して溝田真子さんがお礼の言葉を、木場千里さん、下川和也くん、田中塔子さんの3名が花束を贈呈し、感謝を伝えました。

～第38回 卒業証書授与式～

3月1日（金）に第38回卒業証書授与式が挙行政され、普通科235名、理数科39名の計274名が巣立っていきました。在校生による式前合唱の大地讃頌から始まり、卒業証書授与の呼名では、卒業生が体育館に響く大きな返事をしました。在校生を代表して2年7組の山口愛さんが送辞を、卒業生を代表して3年7組の池上航太さんが答辞を述べ、荘厳で感動的な式典となりました。卒業生の今後益々のご活躍を教職員、在校生一同願っております。



高校入試 合格者発表

3月15日（金）、平成31年度公立高校入学者選抜の合格者発表が行われました。推薦・一般入試の計280名が本校第41回生となります。

合格者発表では、緊張した面持ちで自分の受検番号を探す姿と、それを見つけたときの喜びに溢れた表情が見られました。入学後は、自分の目標に向かってさらに頑張ってくれるものと期待しています。

～卒業生から在校生へメッセージ～

3月13日（水）に、卒業した38回生7名から後輩に向けて進路実現に向けた熱いメッセージを送っていただきました。7名の卒業生からのメッセージの中で挙げられたキーワードを紹介します。

- 今から高総体までに何をするか、が大切だ。何か一つ目標を決めて、それを高総体までに終わらせよう。それが部活引退後の自分の安心感につながる。
- 「わからない」をそのままにしない。解けなかった問題は、その日のうちに解決する。
- 結局は、定期試験を頑張った人が志望校に合格していく。
- 模試を活用しよう。

その日のうちに自己採点。

問題のランク付け→やり直し。

結果が出たら、再度解き直す。

ここで間違える問題は自分の弱点！

そしてポイントをノートにまとめる。



「振り返りつつ、前を向く。」

1学年主任 林 圭介

早いもので入学してから1年が経ちますね。どのような気持ちで北陽台に入学してきたか、覚えていますか。理想として描いていた目標などが、上手く達成できた人、そう上手くはいかなかった人、それぞれだと思います。とにかく、この1年間北陽台生として生活してきた現実が、君たちの目の前にあるということです。この現実を踏まえて、次の学年にどのようにつなげていくか。やはり、この時期は深く考え、反省し、目標を立てるべき時なのだろうと思います。現状に満足できない人は特によく考えてみましょう。

学校全体を見てみると、自分のことだけではなく、北陽台をどのような学校にしていくのか、ということも君たちの双肩にかかってきます。例えば、来年度6月頃に3年生が部活動から引退したら、部活動における最高学年は君たちです。新しく入ってくる後輩たちと共に、新体制・新チームを築いていかなければなりません。また、大きな学校行事である、体育大会では3年生が指揮を執りますが、文化祭は君たちが牽引していくこととなります。北陽台における自分自身の責任というものも考えなければならぬところになるでしょう。視野を広げながら、新しい年度に足を踏み入れていきましょう。

～校内競技大会

3月19日（火）、今年度最後の校内競技大会を行いました。どのクラスも白熱した戦いを繰り広げていました。

サッカー[男子]	優勝	2-2	2位	2-1	[女子]	優勝	2-3	2位	1-7
バスケットボール[男子]	優勝	2-5	2位	1-3	[女子]	優勝	2-1	2位	2-2
バドミントン[男子]	優勝	2-4	2位	1-1	[女子]	優勝	1-6	2位	2-2
ドッジボール[女子]	優勝	1-3	2位	2-5					

～平成31年度人事異動～（この度の人事異動で、16名の先生方が退職・異動となりました。）

野中 光治校長（退職）	藤原 勝志教頭（長崎西高校）	長門 正一（退職）	
谷川 覚（大村高校）	塚原 伸二（諫早高校）	中野 浩治（鳴滝高校定時）	
田中 朋子（県教育センター）	橋口 秩月子（対馬高校）	田中 智大（対馬高校）	
糸山 菊乃（五島高校）	岳尾 浩紀（諫早農業高校）	森 久之（精道三川台高校）	
一瀬 正史（退職）	中村 比勇（諫早高校）	溝内 やよい（退職）	井手 春佳（退職）

3年0学期

2学年主任 下村かおり

今年度も残すところあと数日となり、39回生が最上級生になる日が近づいてきました。来年度は自分の進路を決定する大事な一年になります。熱心に取り組んできた部活動も、残された時間はあと約3ヶ月あまり。高校生活の集大成となるべく、これからの一年は今まで以上の熱意を持って過ごす必要があります。先日、38回生が合格体験談の中で「今から高総体までの過ごし方が大切だ。部活を引退したからといって勉強時間が増えるわけではない。」「互いに高めあえる仲間とのつながりを大切に」など、心に響く言葉をたくさん残してくれました。2年最後の日々であるこの「3年0学期」の過ごし方が今後大きく影響し、自分の進路を大きく左右することは言うまでもありません。「わかってはいるのだが、なかなかやる気が起きなくて・・・」などともうってはもらえません。やる気は行動に伴うものだと思います。

～4月の主な行事予定～

8日（月）大掃除・始業式・新任式・	16日（火）体力テスト・身体測定・部活動編成
入学式・歓迎式・PTA入会式	17日（水）歓迎遠足（23日（月）予備日）
9日（火）校内実力試験（全学年）	23日（火）校内理数科課題研究発表会
10日（水）校内実力試験（2・3年）	